

# コンピュータ教育推進センター(CEC)活動報告

この4月にJAPETと統合した一般財団法人コンピュータ教育推進センター(略称CEC)の平成25年度の活動をご報告します。統合後も原則として活動は続けてまいりますので興味がある場合には事務局までご連絡下さい。

## 1. 教育における ICT 利用促進

教育の情報化を促進するために大学の研究者や小中高校の教員と共に先導的な研究活動をしました。

### (1) 青少年のインターネット・リテラシーの実態調査

青少年にもスマートフォンが爆発的に普及しています。安全安心の観点からフィルタリング機能だけではなく利用者自身のリテラシーを向上させる必要があります。総務省事業として以下を実施しました。

- ① 青少年を取り巻くリスクの分析(約 100 事例)
- ② リスク回避の為に必要なスキルの分析(約 130)
- ③ スキルを測定する為のテスト問題の開発(49 問)
- ④ テストの実施(高校一年生約 3,500 名)

### (2) ICT 支援員養成に関する調査研究

教育の情報化を推進するためには、省庁の報告書にもある通り ICT 支援員の配備は必須の要件となっています。しかしながら ICT 支援員が持つべきスキルは明確になっておらず明確にするために以下を実施しました。

- ① ICT 支援員が持つべきスキルの洗い出し(21 項目)
- ② スキルの分類とルーブリックとして体系化(3段階)
- ③ スキル育成用のテキスト開発と研修会の開催(3回)

## 2. 教育の情報化普及促進

ICT 機器の移り変わりは激しく、定型化された機器や定型的な指導方法は確立されていません。全国から好事例を収集し広報しました。

### (1) ICT 夢コンテスト

学校教育関係者が児童・生徒のためにしている創意工夫や ICT 機器やコンテンツの効果的な使い方を表彰すると共に発表会を開催し関係者へ情報交換の場を提供しました。(応募案件 約 150 件)

### (2) 「教育の情報化」推進フォーラム

CEC の活動成果の発表と学校教育現場における ICT 活用事例の紹介を通じて、大学の研究者、小中高校の教職員、教育関連企業の交流を図りました。

- ・開催時期(年度末の金曜日～土曜日)
- ・CEC 事業報告(5 事業)

- ・ICT 夢コンテスト入賞者発表(31 件)
- ・展示企業数(40 社)
- ・来場者数(1,550 名)

## 3. 教育現場の ICT 安全安心対策推進

児童・生徒を取り巻くネット社会においては、スマートフォンの急速な普及により利便性が向上する一方で、従来からの「なりすまし・詐欺」や「違法・有害情報」に加え、長時間利用による実生活への悪影響や友人関係の破壊が問題になっています。より良いネット社会の実現に向け児童・生徒に安全なネット利用方法とリスク回避の術を指導するために活動しました。

### (1) 「ネット社会の歩き方」講師育成

全ての児童・生徒に対する情報モラル教育の確実な実施に向け、情報モラル教育を実施できる講師を育成するために以下を実施しました。

- ① 研修会用のテキストの開発(200 頁)
- ② 研修会開催教育委員会の募集と採択(20 教委)
- ③ 現任教員による研修会の開催(約 1,000 名受講)

### (2) 「コミュニケーション力育成」講師育成

児童・生徒のコミュニケーションは、気の合うグループの中だけとか、上手なつもりがメールや各種サイトへの書き込みに際して自分の思いを一方向的に伝えている場合も多く、言葉足らずが児童・生徒の人間関係や学級の雰囲気悪化/いじめや不登校/暴力行為等の問題を引き起こす一因です。コミュニケーション能力を向上させるために以下を実施しました。

- ① 研修会用のテキストの開発(170 頁)
- ② 研修会開催教育委員会の募集と採択(20 地域)
- ③ 専任講師による研修会の開催(約 1,000 名受講)

### (3) オンライン・ベターライフ促進委員会

昨年夏よりネット依存やつながり依存が問題になっています。上手にネットを利用し、ネット依存にならないような使い方を指導するために以下を実施しました。

- ① 仮説に基づくアンケートの作成
- ② アンケートによる実態調査
- ③ アンケートの分析と仮説の検証